令和元年度

（平成 31 年度）

事業報告書

社会福祉法人　利島村社会福祉協議会

令和元年度利島村社会福祉協議会事業報告

[1] 協議会の現況（令和2年3月31日現在）

① 会　員　　個人会員　151 名
　　団体会員　8 団体

② 機関構成　　役員　理事　6 名
　　監事　2 名
　　評議員　7 名

　　職員体制　事務局長　1 名
　　高齢者在宅サービスセンター　10 名（内、兼務1名）
　　主任介護支援専門員　1名（兼務）
　　介護福祉士　2名
　　社会福祉士　1名
　　初任者研修修了　1名
　　社会福祉主事任用資格　1名
　　非常勤調理員　3名
　　非常勤ホームヘルパー　1名
　　地域包括支援センター　2 名（内、兼務1名）
　　主任介護支援専門員　1名（兼務）
　　非常勤保健師　1名

[2] 事業・活動報告　　<u>※ 別紙①・②・③に一部再掲あり</u>

～ 概況 ～

重点目標として第一にかかげた「高齢者在宅サービスセンターの運営の安定」については、6月よりデイホームさくゆりの管理者に経験ある職員を迎え、デイのサービス供給体制の強化を図ることが出来た。「利用者本位のサービスの提供とサービス内容の向上」については、ケアプランセンター木春担当職員の積極的なアウトリーチにより、ホームヘルプサービスや迅速な福祉用具貸与など一定の成があった。デイサービスのサービス内容については一定の改善が図られつつも、課題も多いところである

住民主体の地域福祉活動の推進という面では、老人会の地域貢献活動（学校の草取りや指圧体験事業）が悪天候のため中止となったのは残念であった。

広報については、「社協だより」で社協事業や地域の活動の紹介を積極的に行えた。

① 法人運営

1. 理事会

6月18日　平成30年度事業報告書について協議・承認。
平成30年度決算書について協議・承認。
日本赤十字社への寄付募集について協議。
社協会員募集について協議。
令和元年度第1回評議員会への理事1名の推薦について協議。
令和元年度第1回評議員会（定時評議員会）の開催について決議。

6月27日　会長及び副会長の選任について協議。

1月10日　令和元年度補正予算書について協議・承認。
令和元年度人事院勧告に準じた職員給与等の追加支給について協議。
令和元年度第2回評議員会の開催について決議。

3月2日　新型コロナウィルス対策による通所介護事業について協議。

3月20日　令和2年度事業計画書について協議・承認。

令和2年度収支予算書について協議・承認。
令和元年度第3回評議員会の開催について決議。

2. 評議員会　6月26日　平成30年度事業報告書について可決。
平成30年度決算書について可決
理事1名を選任

1月24日　令和元年度補正予算書について可決。

3月30日　令和2年度事業計画書について可決。
令和2年度収支予算書について可決。

3. 監査　6月10日　監事による自己監査（平成30年度事業報告及び決算）を実施。

4. 連絡調整・会議等

【管外】
平成31年度第1回区市町村社会福祉協議会事務局長会　4月26日
平成31年度第1回区市町村社会福祉協議会部会　5月9日
令和元年度第2回区市町村社会福祉協議会事務局長会　7月9日
令和元年度第1回福利厚生センター東京企画委員会　8月1日
第56回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会　7月29日・30日
令和元年度第3回区市町村社会福祉協議会事務局長会　10月29日
都内社協職員連絡会令和元年度第4回広報委員会　12月19日
令和元年度第4回区市町村社会福祉協議会事務局長会　1月28日
令和元年度第2回福利厚生センター東京企画委員会　1月29日
令和元年度家事関係機関と東京家庭裁判所との連絡協議会　2月19日

【管内】
利島村防災会議（利島村総務課）　9月13日
利島村地区懇談会（民生・児童委員）　9月30日
利島村地区連絡協議会（児童相談センター）　11月19日
地域課題会議（地域包括支援センター）　8月5日・2月10日

5. 広報　社協だよりの発行　全戸配布　12回
社協の事業内容及び活動内容の住民への周知に努めた。

ホームページの更新
社協情報の迅速な提供に努めた。

6. その他　会計ソフトは導入せず、会計処理については「税理士法人ゆびすい」に委託。
利島村及び御蔵島村議会議員の視察対応。　1月29日

② 高齢者福祉事業

（1）高齢者在宅サービスセンター

■ 居宅介護支援事業（ケアプランセンター木春）　※ 別紙 ①

■ 通所介護事業（デイホームさくゆり）　※ 別紙 ②

■ ホームヘルプサービス

事業の拡充に取り組み、在宅高齢者の生活の支援を行った。

1. 居宅内支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	0	2	3	1	2	1	0	2	2	2	3	4	―
利用回数	0	20	34	31	35	2	0	5	2	4	4	12	149

2.利島村運動会参加支援（4件）　9月

3.夜間相談・訪問サービス（2件・延16日間）　8月 ・12月～1月

■ 入浴サービス　臨機の対応として5月に入浴サービスを実施した。　2名　延3回

■ 配食サービス　臨機の対応として3月に配食サービスを実施した。　2名　延10食

■ 連絡調整　【管内】 カンファレンス（診療所・保健師との情報交換）　隔週（2回/月）
地域包括ケアシステム推進連絡会　6月・9月・12月

■ 研修　【管外】・介護支援専門員研究協議会第11回研究大会　6月29日
・平成31年度東京都介護支援専門員研修Ⅱ（資格更新研修）
7月18日／8月22日・23日／9月5日・10日
・介護支援専門員のための福祉用具・住宅改修基礎講習会　7月31日
・ケアマネジメントの質の向上研修会　10月17日
・令和元年度東京都介護支援専門員研究協議会第2回大規模研修　1月28日

【管内】・ベーシックライフサポート研修への職員の自主参加を支援（7名）　11月23日

（2）福祉用具貸与事業

令和1年度中の設置・回収実績

	介護用ベッド	エアマット	車椅子	4点杖	シャワーチェア	ポータブルT	自在手すり
設置	4	1	4	1	2	1	ー
回収	5	1	2	1	1	1	1件

貸出の現況　令和2年3月31日現在

	介護用ベッド	エアマット	車椅子	4点杖	シャワーチェア	ポータブルT	自在手すり
件数	4	－	2	－	1	－	ー

（3）理髪サービス券の交付（75歳以上）　18名

（4）排泄補助用品等購入代金助成（高齢者分）　利用者　9名　延196個

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	4	5	4	4	4	5	3	4	7	3	4	6	53
個　数	13	19	18	28	19	21	9	10	19	8	23	9	196

（5）買物サポート　利用者14名　延36件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	2	4	5	4	4	3	2	2	2	1	2	1	32
件数	3	4	5	5	4	3	2	2	4	1	2	1	36

※　栄養補助食品・健康管理用品・衛生用品・服薬管理用品など

（6）その他

・利島村老人会の活動に協力
総会　6月2日
クリスマス会　12月21日
予決算及び会計事務
・利島村内で100歳を迎えられた方に記念品を贈呈　7月28日
・65歳以上の高齢者に祝い品贈呈（78名）　9月～10月
・利島村敬老祝賀会に送迎及び会場見守りで協力　11月17日
・利島村介護認定審査会に委員を派遣　5・6・8・9・11・12・2・3月

（7）利島村地域包括支援センター　※ 別紙 ③

③ 地域福祉事業

・福祉に関する普及啓発活動として「社協セミナー」を開催

「要介護にならないために」　　7月29日　　参加9名
内容：理学療法士柳川進氏による講義と指導

※1月開催予定の司法過疎サポートネットワークによる「知っておきたい成年後見」及び無料法律相談は悪天候のため次年度に延期となった。

・電動カートお試しレンタル　　2名

・送迎サービス（総合事業・サロン事業での利用を除く）　　利用者10名　延96回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	0	3	4	1	2	4	2	2	2	0	0	2	22
件　数	0	16	19	10	7	14	13	8	7	0	0	2	96

内　訳	診療所	社協	港	墓地	老人会	運動会	その他	合計
	69	11	4	2	2	4	4	96

※　片道を1回として計算

・地域の団体やサークル活動等を社協だよりにて紹介　　3件

国際ボランティア学生協会　　9月
利島椿研究会　　10月
東京島しょ農業協同組合利島支店　　2月

④ 障害者福祉事業

・理髪サービス券の交付　　1名

⑤ ボランティアセンター事業

・島外からのボランティア活動等への協力

劇団め組メンバー　　活動日　12月7日
活動場所　デイホームさくゆり
活動内容　殺陣演技等

・ボランティア保険加入手続き　　107名

利島村盆踊り実行委員会　66名
利島村老人会　35名
椿実の収穫ボランティア　4名
その他　2名

⑥ 児童福祉事業

・小学校入学児童への祝い品贈呈（2名）　　4月
・中学2年生社会科授業「自然災害への備え」に講師を派遣　　9月
・小学2年生社会科体験の受け入れ　　11月
・中学2年生の職場体験受入（2名）　　12月
・中学2年生の「課題追及学習」に講師を派遣　　12月
・保育園児とデイサービス利用者の交流　　4・5・6・7・8・9・10・11月
・小学1・2年生とデイサービス利用者の交流　　4・5・6・10月
・学童クラブ利用者とデイサービス利用者の交流　　8月
・チャイルドシート貸出（1件）　　3月
・排泄補助用品等購入代金助成事業（乳幼児分）　　利用者　6名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	1	0	0	1	2	2	2	1	4	5	6	4	28
数量	1	0	0	1	2	3	2	1	5	8	8	4	35

⑦ 地域福祉権利擁護事業（東京都社会福祉協議会委託事業）

相談実績　0件　　利用実績　0件

※本人よりの相談実績はないが、関係機関専門職よりの制度利用についての相談が1件あった。

⑧ 生活福祉資金貸付事業（東京都社会福祉協議会委託事業）

平成27年度よりの継続　1名

令和元年度末状況

貸付金額	100,000
償還金額	30,000
残元金	70,000
残利子	28,244

※資金種別は「緊急小口資金」
※単位／円
※残利子は延滞利子

⑨ 受験生チャレンジ支援資金貸付事業（利島村委託事業）

相談実績　1件　　利用実績　0件

⑩ 共同募金事業

赤い羽根共同募金　　実施期間　10月1日～31日
実　　績　133件　137,340円

歳末地域たすけあい募金　　実施期間　12月1日～31日
実　　績　126件　149,191円

台風19号災害義援金募集について広報　11月

⑪ その他

日本赤十字社の寄付募集に協力　　実施期間　10月1日～31日
実　　績　120件　109,457円

別紙①

令和元（平成 31）年度「ケアプランセンター木春」事業報告
（離島等相当サービス居宅介護支援事業所）

～総括～

当事業所は平成 29 年 10 月 1 日の開設から 2 年半が経過した。この 1 年も利島村唯一の居宅介護支援事業所として、利島村に住民登録をする島内外の要介護認定者の支援に取り組んだ。

利島村では要介護者数が少ないことから契約件数は少数となってはいるものの、それぞれの事例へ丁寧に関ることができ、利島村での終末期ケアや、療養目的で出島した方の帰島支援に主体的に携わることもできた。また支援を通じ多くの関係機関と関わり、今後につながる関係性の構築もできた。

令和元年度は、地域包括支援センターとの一体的な運営ゆえのシームレスな居宅介護支援を提供することができた 1 年であったと総括し、以下にて昨年度末に作成した活動計画に基づき、令和元年度の事業報告を行う。

(1) 活動計画「信頼関係の構築と深化を図る」に対しての取り組みと実績

- 3 年目という事で把握できてきた地域特性にも配慮し、日々の支援に真摯に取り組んだ。
  ⇒平成 30 年度と比較して相談ケースが増加していることから、事業所が一定程度の認知と信頼を得ていることが示唆される。
- 要介護認定の更新等に係る諸手続きについては、必要に応じて支援・代行を行った。
  ⇒保険者との認定情報の密な共有に努め、担当ケース全ての要介護認定は適切に実施された。
- 福祉サービス第三者評価の実施に向け、評価機関と利島来島についての意見交換を実施した。
  ⇒調整不足により審査の受審には至らなかったが、次年度に向けての足掛かりは構築できた。

(2) 活動計画「ご利用者の自立を支援できるケアマネジメントを行う」に対しての取り組みと実績

- “常にご利用者が可能な限りその在宅生活において、個々の能力に応じ自立した生活を営むことができるように”ということを念頭にケアプラン作成に取り組んだ。
  ⇒2 月及び 3 月には、ご利用者及びご家族のニーズに基づき、大島のショートステイを利用するなど、島外の社会資源も活用しての支援を提供できた。
- ケアマネジメントプロセスに基づき、サービス担当者会議やモニタリングを実施した。
  ⇒担当する全てのケースにおいて、プロセス通りの支援が提供できた。
  ※令和 2 年 3 月に実施した一部の支援については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から通常のプロセスの一部を簡略化した対応を行った。（保険者確認済み）
- 東京都介護支援専門員専門研修Ⅱを受講した。
  ⇒研修受講を通じ他のケアマネジャーと意見交換することができ、日頃のケアマネジメントを客観的に見直す等の学びを得ることが出来た。

(3) 活動計画「在宅の高齢者を地域で支えられるように、地域住民及び関係機関等との連携を深める」に対しての取り組みと実績

- 情報共有システム（カナミックネットワーク®）の活用とその推進を行った。
  ⇒島内の関係機関へ情報共有システムの活用を働き掛け、村役場、診療所、そして社会福祉協議会の連携強化とタイムリーな情報共有が図られることとなった。

- 社協セミナーの企画・開催を通じて、高齢者の生活支援に関する情報提供を広く住民に行った。
  ⇒7 月に『健康寿命を延ばしてエンジョイライフ　要介護にならないために､』というセミナー開催に協力をした。なお、1 月に予定していた『知っておきたい相続・遺言』という介護者家族向けのセミナーは、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となった。
- 東京島しょ地域のケアマネジャーとの連携を目指し、各島のケアマネジャーの活動状況把握に取り組んだ。
  ⇒隣島（大島及び新島）は訪問してケアマネジャー同士で顔の見える関係づくりができ、日常的に連絡を取り合うに至っている。また、神津島、三宅島、そして八丈島のケアマネジャーとは電話ではあるが意見交換ができ、今後に向けての足がかりを構築することができた。

(4) その他の実績

- 利島村が行う介護保険事業運営に係る会議や要介護認定調査等への協力。
- 利島村社会福祉協議会が運営する介護保険事業所の運営に係る支援。
- 自治体（足立区他）や福祉関係団体（東社協他）による研修会等への講師等の派遣。
- 認知症介護研究・研修センターが厚生労働省の委託を受けて設置した委員会への委員派遣。
  ⇒『認知症介護従事者に対する研修の効果的な実施方法及び評価に関する調査研究事業 報告書 令和 2 年 3 月　認知症介護研究・研修仙台センター』にて成果報告あり。

(5) 残された課題

- いわゆる“ひとりケアマネ”の事業所であるため、現在の職員に不測の事態が起きた場合に備え、利島村における事業継続の方法を検討・確立させておく必要がある。
- 当事業所の職員は管理者兼主任ケアマネジャー1 名（地域包括支援センターと兼務）であり、マンパワー不足が恒常化しているため、何らかの対応策を講じる必要がある。

＜参考資料＞　　【表 1. 月ごとのケアプラン件数と要介護度について】

令和元年度	ケアプラン実績（件）	ケアプラン実績の要介護度の内訳（月末時点）					
		1	2	3	4	5	平均
4 月	6	2	1	1	2	0	2.5
5 月	5	1	1	1	2	0	2.8
6 月	7	2	1	1	2	1	2.9
7 月	7	2	1	1	2	1	2.9
8 月	7	2	1	1	2	1	2.9
9 月	6	2	1	1	2	0	2.5
10 月	7	3	1	1	2	0	2.3
11 月	7	2	2	1	2	0	2.4
12 月	7	2	2	1	2	0	2.4
1 月	7	2	2	1	2	0	2.4
2 月	7	2	2	1	2	0	2.4
3 月	7	2	2	1	2	0	2.4

※ 実績件数の変動は、入院や施設入所等をされた方がいらっしゃることによる

別紙②

令和2年度「利島村高齢者在宅サービスセンターデイホームさくゆり」事業報告
（離島等相当サービス地域密着型通所介護事業所）
（介護予防・日常生活支援総合事業所）

～総括～

平成30年度に引き続き、基本方針とした「責任ある安定的なサービス提供」については、6月に経験ある職員を迎え8月より管理者としたことでサービス提供体制の強化を図れた。管理者の指導のもと、ご利用者のＱＯＬを第一に考えた支援技術の向上にも取り組むことが出来たが、課題は多く次年度も継続して粘り強く取り組む必要がある。

お泊りデイサービスについては、3月を除き年間を通じて定期的に提供できた。

関係職種との迅速な情報共有についてはカナミックネットワーク®の活用が図れた。

利用者ご家族や担当ケアマネジャー及び保険者との充分な意思疎通を図ることなく、また代替サービスの提案をセットとすることなく、3月2日より13日までの間、新型コロナ感染症対策としてデイのサービス内容の縮小をおこなったことは、大いなる反省点である。

11月中旬よりインフルエンザ対策として、また2月よりは新型コロナ感染症対策としてフロアの入室制限を行い、地域や児童との交流が行えなかったことは残念であった。

～利用実績～

・デイサービス

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数		6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	－
実利用人員		6	5	7	7	7	6	7	7	7	7	7	7	－
内訳	要介護1	2	1	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	－
	要介護2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	－
	要介護3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	－
	要介護4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	－
	要介護5	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	－
延利用日数		125	114	114	146	135	93	151	144	140	135	123	105	1525
延入浴数		45	33	47	60	59	40	57	59	56	53	48	57	614
延食事数		141	130	122	154	151	100	175	160	164	151	145	83	1676
延送迎数		234	212	198	276	240	180	278	271	255	245	234	166	2789

※契約者数は各月1日付。送迎は片道を1回として計算。

4月22日に利用者家族、関係機関で運営推進協議会を開催。
6月5日に家族交流会を開催。
9月9日・10日は台風15号による停電のため、休止。
3月2日から3月13日まで、新型コロナ感染症対策として入浴日の午前中のみ事業を実施。
3月12日に利用者家族、職員、関係機関で新型コロナ感染症対策下でのデイサービス実施について協議。
3月19日に利用者家族、事務局長で新型コロナ感染症対策下でのお泊りデイサービスの実施について協議。

・お泊りデイサービス（宿泊）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人員	2	2	2	2	4	1	3	2	3	2	2	0	－
延利用日数	10	10	10	10	17	5	15	10	15	10	14	0	126

・総合事業及び利島村サロン事業

総合事業（火・木に運営）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	−
実利用人員	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	−
延利用日数	25	23	17	23	19	15	14	10	9	8	7	5	175
延食事数	25	23	17	23	19	15	14	10	9	8	7	5	175
延送迎数	30	40	34	46	38	30	28	19	18	16	14	10	323

※契約者数は各月1日付。送迎は片道を1回として計算。

サロン事業（月・水・金で運営）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用人員	4	4	3	3	3	3	2	2	2	1	1	1	−
延利用日数	44	45	29	34	26	21	22	15	13	11	11	6	277
延食事数	44	45	29	34	26	21	22	15	13	11	11	6	277
延送迎数	68	67	66	68	52	42	44	29	26	22	22	12	518

総合事業とサロン事業は介護予防事業として一体的に運営した。
総合事業及びサロン事業の送迎は「送迎サービス」として実施した。
年度内に総合事業利用者2名が要介護での利用に移行した。
3月2日から3月13日まで、新型コロナ感染症対策として事業を休止した。

～行事等～

4月	観桜会　誕生会　小学生交流　ドライブ
5月	誕生会　保育園交流　小学生交流
6月	保育園交流　小学生交流
7月	誕生会　保育園交流
8月	暑気払い　誕生会　学童交流　保育園交流　小中学校合唱団来所
9月	誕生会
10月	芋煮会　小学生交流　保育園交流　利島民謡　ドライブ
11月	秋を楽しむ会　小学生交流
12月	クリスマス会　ドライブ
1月	新年会　ドライブ
2月	節分　ドライブ
3月	雛祭り　誕生会

～リハビリ指導等～

・理学療法士によるリハビリ指導　　4月・5月・7月・8月・9月・11月・12月・1月・2月
・言語聴覚士による口腔機能評価　　6月・10月

～関係機関連携～

・診療所、保健師、居宅介護支援事業所等とのカンファレンスに参加（毎月2回）。
・カナミックネットワーク®を活用し関係機関と迅速な情報共有に努めた。

～その他～

・入浴支援機器導入にともない、見学会を開催（参加16名）。　5月
・小学2年生社会科体験に協力。　11月
・中学2年生職場体験に協力。　12月
・利島村立小中学校展覧会に作品を展示。　2月

※ 11月中旬からはインフルエンザ対策、2月からは新型コロナ対策のため、地域との交流は行えなかった。

別紙③

令和元（平成 31）年度「利島村地域包括支援センター」事業報告
（指定介護予防支援事業所）

～総括～

利島村地域包括支援センターは今年度より主担当の職員が交代し、今までの業務を踏襲しつつも新たな取り組みを始めた１年となった。年度の終盤には新型コロナウイルスの影響により未実施となる事業も生じたが、計画的な地域ケア会議の開催や生活支援コーディネーターの配置も行うことができ、利島村の地域包括ケアシステムの構築に主体的に関わることが出来たと総括する。

(1) 包括的支援事業

① 総合相談支援業務

・ 来所相談のみならず、保健師による戸別訪問を実施し相談支援に取り組んだ。

・ 相談内容は要介護認定に関するもの、福祉用具や住宅改修に関すること、本土での介護サービス利用について等が多かった。

（参考）　【表 1. 月ごとの相談件数】（のべ件数）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1※1	2 月	3※2	合計
件数	20	22	17	16	13	14	10	21	19	4	20	24	200

※1 1 月は天候不良のため非常勤保健師は活動（来島）していない

※2 3 月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、非常勤保健師は活動（来島）していない

② 介護予防ケアマネジメント業務

・ 要支援者及び基本チェックリスト該当者の介護予防ケアマネジメントを担当した。

・ 利島村におけるより良い介護予防ケアマネジメントの形を検討し、次年度からはケアマネジメント C の類型にて支援をしていくこととなった（初回のみの介護予防ケアマネジメント）。

（参考）　【表 2. 月ごとの給付管理件数】（のべ件数）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	30

③ 包括的・継続的ケアマネジメント業務

・ 利島村では活動しているケアマネジャーが 1 名のみのため、他地域のケアマネジャーとの連携を支援することとし、本年度は東京島しょ地域にある全ての地域包括支援センターへ連絡を行い、ケアマネジャーの配置状況確認や業務内容に関する情報収集を行った。

④ 権利擁護業務

・ 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）を利用する可能性があるケースが生じ、利島村役場や東京都社会福祉協議会とも相談を行ったが、その後の事業利用には至っていない。

(2) 地域包括ケアシステムの推進

① 地域ケア会議の開催

・ 定期的に地域ケア会議を開催し、地域課題の発見や共有、支援の推進に取り組んだ。

（参考）地域包括ケアシステム推進連絡会：6 月 20 日、9 月 13 日、12 月 5 日
地域課題会議：8 月 5 日、2 月 10 日

・ 地域課題での課題共有を経て、『利島村 ふくしの便利帳』を作成した。（住民配布は令和 2 年度）

② 在宅医療と在宅介護の連携推進

・ カナミックネットワークを活用し医療、介護等関係機関とのタイムリーな情報共有を行った。
・ 利島村役場（保健師）、利島村診療所、島内介護事業所との隔週定期カンファレンスを開催した。

③ 認知症施策の推進

・ 年度終盤に予定していた利島村での認知症サポーター養成講座は、新型コロナウイルスの影響により開催できなかった。しかし御蔵島社協からの要請を受け、6 月 21 日に講師を派遣し御蔵島村住民向けの認知症サポーター養成講座は実施している。
・ 8 月及び 9 月には認知症地域支援推進員と協働し、“としまむらオレンジカフェ”を開催した。（その後は天候不良や新型コロナウイルスの影響により開催が出来ていない）
・ 利島村の認知症ケアパスの作成に取り組み、概要版を完成させた。
・ 認知症初期集中支援チームを配置し、初期支援体制の整備に取り組んだ。（活動実績はなかった）
・ 住民全体を対象とした認知症予防の取り組みのため、学習療法®の説明会に参加した。（その後、新型コロナウイルスの感染拡大により担当者が来島できず、一旦取りやめとなっている）

④ 生活支援体制整備への取り組み

・ 生活支援コーディネーターを配置し地域ケア会議と連携しての生活支援体制整備に取り組んだ。
・ 高齢者等生活支援ホームヘルプサービス事業の拡充に取り組み、在宅高齢者の生活を支援した。
・ ひとり暮らし高齢者傾聴訪問事業を開始し、閉じこもりがちな高齢者への支援の輪をひろげた。

(3) 一般介護予防

① リハビリテーション指導事業

・ 毎月島外よりセラピストを招聘し（6 月及び 10 月は言語聴覚士、それ以外の月は理学療法士）、島民へのリハビリテーションに関する指導等を行った。
・ 居宅を訪問しての指導にも取り組み、理学療法士は福祉用具や住宅改修に関する助言も行った。

（参考） 【表 3. 月ごとのリハビリテーション指導の実績】（のべ件数）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3※	**合計**
件数	12	16	9	14	10	11	11	13	14	11	14	―	**135**

※ 3 月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リハビリテーション指導は実施していない

② 社協セミナー

・ 7 月には理学療法士を講師として、『健康寿命を延ばしてエンジョイライフ 要介護にならないために、』というセミナーを開催した（参加者 9 名）。

③ ノルディックウォーキング

・ 5 月及び 6 月に『よるザップ』と題し、住民向けにノルディックウォーキング教室を開催した。あわせてノルディックウォーキングポールの貸し出しや購入支援を行い、その後も関心をもった住民は自主的にノルディックウォーキングを続けている。

(4) その他

① 要介護認定調査の受託

・ 利島村からの依頼により、要介護認定調査を実施した。

（参考）　　【表 4. 月ごとの要介護認定調査数】（のべ件数）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	2	3	0	0	0	0	2	0	2	1	1	3	**14**

② 自治体や職能団体からの依頼に基づく研修講師や委員会委員等への協力

・ 東京都社会福祉協議会の登録講師派遣制度や、足立区の認知症介護実践者等研修、利島村の認定審査会委員研修等へ講師を派遣した。
・ 認知症介護研究・研修センターが行う研究事業へ委員を派遣した。
・ 東京都介護支援専門員研究協議会や全国認知症介護指導者ネットワークといった職能団体等の理事や監事を担った。
・ 医療法人社団大和会大内病院による『ロボット介護機器開発に関する調査』（日本医療研究開発機構による公募事業）に協力した。

③ 外部研修の受講等

・ 6 月 25～26 日、平成 31 年度東京都地域包括支援センター職員研修（初任者研修）を受講した。
・ 6 月 29 日、東京都介護支援専門員研究協議会 第 11 回研究大会・活動報告会にて、『東京都のある小規模離島からの報告　～利島村に移住した地域社協のケアマネジャーより～』というテーマにて活動報告を行った。
・ 7 月 19 日、足立区基幹地域包括支援センターの見学研修を行った。
・ 7 月 22～23 日、令和元年度生活支援コーディネーター初任者研修を受講した。
・ 9 月 7 日及び 10 月 19 日、自立支援介護予防に向けた地域ケア会議実践者養成研修を受講した。

④ その他

・ 7 月よりメーカーの協力を得て、ケアシューズ「あゆみ」のサンプル展示を開始した。
・ 7～8 月、利島村役場と協力し村内の高齢者向けに熱中症対策グッズの配布を行った。
・ 7 月 1 日～9 月 30 日までの間、『涼み処』の設置、運営をおこなった。
・ 12 月には島内中学生 2 名の職場体験の受け入れ協力を行った。
・ 年末年始休業（9 連休）の間、電話転送によるオンコール体制を整え住民支援に取り組んだ。
・ 3 月 4～15 日の間、島内唯一のデイサービスが新型コロナウイルス対策のためサービスを縮小したことに伴い、介護サービス利用者向けに電話転送による土日及び夜間の相談対応を実施した。
・ 3 月 9～13 日の間、島内唯一のデイサービスが新型コロナウイルス対策のためサービスを縮小したことに伴い、介護サービス利用者向けに昼食の配食サービスを提供した。

(5) 残された課題

・ 令和元年度にて非常勤保健師が退職（契約満了）し、職員は管理者兼主任ケアマネジャー1 名（居宅介護支援事業所と兼務）となった。地域包括支援センターに求められる社会的役割は増加する中での恒常的なマンパワー不足であり、事業の充実と拡大が難しい状況となっている。